

平成27年度
第1回宮崎県河川整備学識者懇談会

次 第

日時：平成27年10月27日(火)
14:00～15:30
場所：西臼杵支庁大会議室

1 開会

2 あいさつ
(宮崎県 河川課長)

3 出席者紹介

4 議事

- (1) 宮崎県河川整備学識者懇談会の開催主旨(資料-1)
- (2) 環境調査の結果とりまとめ(資料-2、資料-3)
- (3) 河川整備計画(素案)について(資料-4)
- (4) 今後のスケジュール(資料-5)

5 閉会

平成27年度 第1回 宮崎県河川整備学識者懇談会出席者名簿

(委員)

所属	役職名	氏名
宮崎大学	名誉教授	杉尾 哲
宮崎大学工学部	教授	鈴木 祥広
宮崎大学工学部	教授	村上 啓介
宮崎大学農学部	教授	三浦 知之
綾町役場エコパーク推進室	照葉樹林文化推進専門監	河野 耕三
宮崎大学農学部	非常勤講師	中村 豊
鉦脈社	専務取締役	川口 道子
県文化財保護審議会	前会長	甲斐 亮典

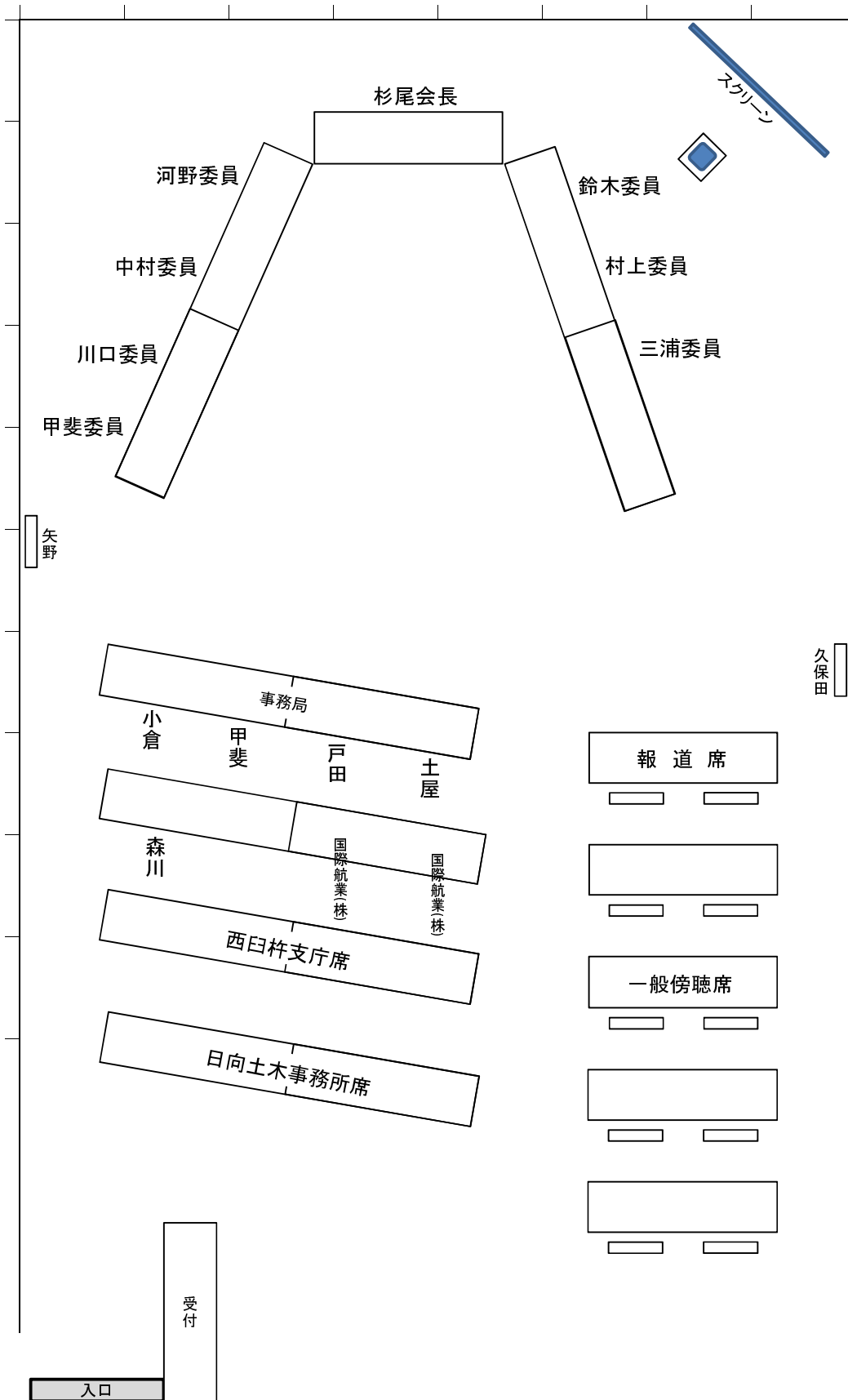
(事務局)

宮崎県県土整備部河川課	課長	土屋 喜弘
	課長補佐(技術)	小倉 弘康
	計画調査担当リーダー	戸田 正人
	計画調査担当	甲斐 裕之
	計画調査担当	久保田修司
	計画調査担当	矢野 裕貴
	河川担当主査	森川 慎也

平成27年度 第1回 宮崎県河川整備学識者懇談会

日時:平成27年10月27日
場所:西臼杵支庁大会議室

配席図



宮崎県河川整備学識者懇談会設置要綱

平成26年8月27日

県土整備部河川課

(設置)

第1条 県管理河川における河川整備計画（以下「整備計画」という。）の策定、点検、変更及び事後評価について、広く学識経験者から意見聴取を行うため、宮崎県河川整備学識者懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(検討事項)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 整備計画の策定に関すること。
- (2) 整備計画の点検及び変更に関すること。
- (3) 整備計画により実施された事業のうち、県土整備部公共事業事後評価実施基準により事後評価の対象となる事業についての審議に関すること。

(組織)

第3条 懇談会は、委員15名以内で組織する。

(委員)

第4条 委員は、学識経験を有する者のうちから、県土整備部長が委嘱する。

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。

(会長)

第5条 懇談会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は懇談会の運営と進行を統括し、懇談会を代表する。
- 3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、委員のうちから互選された者がその職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会は、県土整備部長が招集する。

- 2 会長は、必要に応じて委員以外の者に対し、懇談会の場で意見を求めることができる。

(庶務)

第7条 懇談会の庶務は、宮崎県県土整備部河川課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、県土整備部長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成26年8月27日から施行する。

別表 宮崎県河川整備学識者懇談会委員

	区 分	所 属	役職名	氏 名	住所
1	学識経験者（河川工学）	宮 崎 大 学	名誉教授	すぎお さとる 杉尾 哲	宮崎
2	学識経験者（水質）	宮崎大学工学部	教 授	すずき よしひろ 鈴木 祥広	宮崎
3	学識経験者（水工学・海岸）	宮崎大学工学部	教 授	むらかみ けいすけ 村上 啓介	宮崎
4	学識経験者（魚類）	宮崎大学農学部	教 授	かんだ たけし 神田 猛	宮崎
5	学識経験者（底生動物）	宮崎大学農学部	教 授	みうら ともゆき 三浦 知之	宮崎
6	学識経験者（経済）	宮崎公立大学人文学部	准 教 授	くぼ わ か 久保 和華	宮崎
7	学識経験者（水利）	宮崎県土地改良事業団体 連合会	常務理事	いのまた としお 猪股 敏雄	宮崎
8	学識経験者（植物）	綾町役場 エコパーク推進室	照葉樹林 文化推進 専 門 監	かわの こうぞう 河野 耕三	宮崎
9	学識経験者（動物・鳥類）	宮崎大学農学部	非 常 勤 講 師	なかむら ゆたか 中村 豊	宮崎
10	学識経験者（生活）	鉦脈社	専 務 取 締 役	かわぐち みちこ 川口 道子	宮崎
11	学識経験者（歴史・文化）	県文化財保護審議会	前 会 長	か い りようすけ 甲斐 亮典	宮崎

河川整備計画を策定する14水系 (地震・津波対策)

資料-1

平成十九年九月

熊野江川(延岡市)
H27.8.18策定

沖田川(延岡市)
H27.8.18策定

鳴子川(門川町)
H27.8.18策定

五十鈴川(門川町)
洪水対策を含め、今年度策定予定

塩見川(日向市)
H27.8.18策定

赤岩川(日向市)
H27.8.18策定

新別府川(宮崎市)
H27.9.24策定

清武川(宮崎市)
H27.9.24策定

加江田川(宮崎市)
H27.8.18策定

伊比井川(日南市)
H27.8.18策定

宮浦川(日南市)
H27.8.18策定

風田川(日南市)
H27.8.18策定

細田川(日南市)
H27.8.18策定

福島川(串間市)
H27.9.24策定

凡	例
指定河川	完成
指定河川(一般河川)	建設中
指定河川(一般河川)	計画
二級河川	多目的ダム
海岸保全区域	治水ダム
	発電用ダム
	農業用ダム
	防災ダム

海岸保全区域表

河川名	延長(km)	面積(km ²)	人口(人)	資産(億円)
熊野江川	2.50	0.02	200	100
沖田川	2.50	0.02	200	100
鳴子川	2.50	0.02	200	100
五十鈴川	2.50	0.02	200	100
塩見川	2.50	0.02	200	100
赤岩川	2.50	0.02	200	100
新別府川	2.50	0.02	200	100
清武川	2.50	0.02	200	100
加江田川	2.50	0.02	200	100
伊比井川	2.50	0.02	200	100
宮浦川	2.50	0.02	200	100
風田川	2.50	0.02	200	100
細田川	2.50	0.02	200	100
福島川	2.50	0.02	200	100

平成27年10月27日
河川課河川担当

平成27年度 第1回宮崎県河川整備計画 学識者懇談会 神代川かわまちづくり説明資料

日本発祥の地「神都高千穂」

神代川かわまちづくり計画書

川と日本人の心の再生を目指して

平成二十六年一月

宮崎県高千穂町
宮崎県西白杵支庁

- 神代川の天真名井は、ニギノミコトが天から「水の種」をもたらしたことで湧いた泉であるとの伝承が残る。
- 以前は、水量があり、水を飲んだり、ものを洗ったり、子供たちが水遊びをするなど人びとに親しみのある川だった。

昭和40年台～

- 昭和40年代の河川改修によりコンクリート三面張の河川となった。
- 当時の施工により天真名井からの湧水量が減少し、人びとは川から遠ざかってしまった。



平成16～22年度

- 九州大学やNPO法人五ヶ瀬川流域ネットワークなどが中心となり、ワークショップ形式での神代川再生検討を行う。



平成23～25年度

- 県と高千穂町が中心となり、検討委員会を組織し、かわまちづくり計画書を作成。



平成26年度～

- 地元住民を中心とした推進協議会を組織し、具体的な整備内容について検討中。